

平成26年8月27日

土崎まちづくり拠点施設整備基本計画策定業務に関する  
公募型プロポーザル審査委員会における審査の講評等

まちづくり拠点施設整備基本計画策定業務に関する  
公募型プロポーザル審査委員会  
委員長 柿崎武彦

## 1 審査結果

まちづくり拠点施設整備基本計画策定業務に関する公募型プロポーザル審査委員会は、8月27日、土崎まちづくり拠点施設整備基本計画策定業務に関する公募型プロポーザルの企画提案書提出者2者のヒアリングを行い、「有限会社 村田弘建築設計事務所」を本プロポーザルの受託候補者として、最も適切であると決定する。

## 2 総評

企画提案書の特定にあたっては、会社の業務実績および配置技術者（第2回委員会における客観的評価）に加え、4つの提案課題に対して企画提案書の提出を求め、その内容やヒアリング時におけるコミュニケーション能力および取組意欲、業務参考見積について厳正に評価を行った。

企画提案内容はいずれも提出者の優れた技術力と強い意欲が認められるものであり、慎重な審査の結果、総合的に優れていた上記業者に決定したものである。

### 【参考：提案課題】

- 1 委託業務の内容をどのように認識し、地域との協働にどのように取り組むのか提案すること。
- 2 建設コストの低減を図るための方策と効果について、市が想定した事業費と比較して、具体的に提案すること。
- 3 「港」と「歴史」を活かしたまちづくりに向け、住民（地域）が主体となった地域資源のネットワーク化とその活用について提案すること。
- 4 施設完成後の管理・運営手法のあり方について、地元住民や団体など、地域と市の役割分担を踏まえて提案すること。

### 3 特定者に対する講評

#### (1) 企画提案

全体的に事業の経緯や本市の方針、課題認識についてよく整理されており、提案内容に説得力があった。

提案課題2については、建設コストの削減に関して具体的な手法が提案されており、ライフサイクルコストも見据えて提案された点が評価される。

提案課題3については、土崎の都市構造が形成されてきた歴史的プロセスをベースに、拠点施設（歴史館）の機能に配慮した提案と認められる。

#### (2) コミュニケーション能力、取組意欲

「土崎まちづくり基本構想」を十分読み解き、各課題について掘り下げた提案となっており、積極的な取組姿勢が認められる。

#### (3) 業務参考見積

被爆倉庫の強度調査を含め、業務内容を的確に把握した内容と認められる。

### 4 審査等の経過

月 日	経 過	内 容
7月4日	第1回審査委員会	プロポーザルの実施内容（参加表明者の要件、提案課題、評価基準等）を協議した
7月8日	手続きの公告開始	プロポーザル参加者の募集を開始した
7月22日	参加表明書提出期限	2者から参加表明書が提出された
7月29日	第2回審査委員会	企画提案書提出者（2者）を選定した
8月20日	企画提案書提出期限	2者から企画提案書が提出された
8月27日	第3回審査委員会	ヒアリングにより企画提案書を特定した

### 5 審査委員会名簿

	氏 名	所 属	分野
委員長	柿崎 武彦	秋田市企画財政部次長	行政
委 員	矢吹 達夫	秋田みなと振興会会長	まちづくり
委 員	菊地 利雄	土崎みなと曳山まつり調査・研究者	学識経験者
委 員	佐藤 均	秋田市北部市民サービスセンター副所長	行政
委 員	石郷岡 亮	秋田市建設部建築課長	行政

土崎まちづくり拠点施設整備基本計画策定業務に関する公募型プロポーザル審査結果

評価項目	評価の着眼点	評価のウエート	評価点数		
			A社	(有)村田弘建築設計事務所	
企画提案	提案課題1	10	6.8	7.2	
	提案課題2	的確性(与条件との整合性等)、実現性(提案内容の論理性等)、独創性(事業趣旨を理解したうえでの新たな提案の有無等)を考慮して、課題毎に総合的に評価	20	11.2	14.4
	提案課題3		20	13.6	15.2
	提案課題4		20	12.0	12.8
	小計		70	43.6	49.6
ヒアリング	コミュニケーション力	質問に対する応答が明快かつ的確であるか	5	2.8	3.4
	取組意欲	本業務を理解し、積極的な取り組み姿勢が伺われるか	5	3.4	3.8
	小計		10	6.2	7.2
業務参考見積	見積金額と提案内容の整合性	5	2.2	3.4	
会社の業務実績および配置技術者	企画提案書提出者選定時の評価を15/100として換算	15	14.2	9.3	
合計		100	66.2	69.5	

企画提案、ヒアリングおよび業務参考見積は、全委員の評価点の平均とする。